茨城県移動性·安全性向上委員会

第36回委員会資料(安全性)

令和7年8月29日

国土交通省 常陸河川国道事務所 茨城県土木部

目 次

1.	これまでの経緯	p2
2.	第35回委員会における主な指摘事項と対応	p4
3.	幹線道路の交通安全対策検討	p7
	・ 事故ゼロプランの取り組み	p8
	・ 対策効果未発現箇所の追加対策検討	p10
	・ 路面標示の検討について	p17
	・ 今後の事故ゼロプランの進め方について	p19
4.	生活道路の交通安全対策検討	p31
	・ ゾーン30プラスの概要	p32
	・ ゾーン30プラスの整備状況	p33
5.	今後のスケジュール	p34

1. これまでの経緯

茨城県移動性・安全性向上委員会(安全性)の経緯

- ・事故ゼロプランは茨城県移動性・安全性向上委員会(安全性)での議論を踏まえ、PDCAサイクルに基づく対策の立案・実施・評価・追加 対策の検討をしてまいりました。
- ・その中で事故ゼロプランを効果的に推進するため、事故危険区間を選定するルール(基準)を設定し、現時点までで第1期~第7期の事 故危険区間を選定し、検討を行ってきております。

■これまでの	主な検討内容	
	委員会	事故ゼロプランの検討内容
平成21年度	第1回	・事故危険区間抽出のためのパブリックコメント実施方針の検討
平成22年度	第2・3回	・事故危険区間529区間の選定(国146区間、県383区間) ・事故危険区間の代表61区間の設定(国52区間、県9区間)
平成23年度	第4回	・事故危険区間の対策方針の検討(個別調書の作成)
平成24年度	第5•6•7•8回	・事故ゼロプランの効果的な推進のためのルール検討(追加およびフォローアップ) ・新たな事故危険区間90区間(第2期事故危険区間)の設定(最新データによる選定:国23区間、県67区間)
平成25年度	第9・10・11回	・新たな事故危険区間24区間(第2期事故危険区間)の追加(アンケートによる選定:国14区間、県10区間) ・第3次事故危険箇所41箇所を事故ゼロプランとして位置づけ(H25事故危険箇所:国13区間、県28区間)
平成26年度	第12・13・14回	・新たな事故危険区間126区間(第3期事故危険区間)の選定(最新データおよびITデータによる選定:国69区間、県57区間)
平成27年度	第15•17回	・第4次事故危険箇所30箇所を事故ゼロプランとして位置づけ(H29事故危険箇所:国11区間、県19区間)
平成28年度	第18•19回	・新たな事故危険区間64区間(第4期事故危険区間)の選定(最新データおよび最新指標値による選定:国35区間、県29区間)
平成29年度	第20・21回	・新たな事故危険区間(第5期事故危険区間)の検討
平成30年度	第22•23回	・新たな事故危険区間103区間(第5期事故危険区間)の設定 (最新データおよび最新指標値による選定:国19区間、県84区間)
令和元年度	第25回	・新たな事故危険区間21エリア(第5期事故危険区間(エリア))の設定(最新データによる選定:国4エリア、県17エリア)
令和2年度	第26回•第27回	・新たな事故危険区間(第5期事故危険区間(エリア))の設定 ・対策完了(卒業)ルールの検討
令和3年度	第28回•第29回	・新たな事故危険区間(第6期事故危険区間)の選定(最新データおよび最新指標値による選定:国27区間、県20区間) ・第5次事故危険箇所29箇所を事故ゼロプランとして位置づけ(事故危険箇所:国11区間、県18区間) ・対策完了(卒業)判定の結果、国80区間、県77区間が対策完了と判定
令和4年度	第30回•第31回	・新たな事故危険区間(第6期事故危険区間)・対策効果未発現箇所の対策検討 ・対策完了(卒業)判定の結果、国31区間、県26区間が対策完了と判定 ・新たな事故危険区間(第7期事故危険区間)の選定方針の検討
令和5年度	第32回-第33回	・対策効果未発現箇所の対策検討 ・新たな事故危険区間(第7期事故危険区間)の選定(最新データおよび最新指標値による選定:国12区間、県10区間) ・対策完了(卒業)判定の結果、国6区間、県37区間が対策完了と判定 ・ゾーン30プラス(県内5エリアで整備あるいは整備計画策定済)
令和6年度	第34回•第35回	・幹線道路の交通安全対策検討(第7期事故危険区間(国12区間・県10区間)・対策効果未発現箇所(県3区間)の対策検討) ・生活道路の交通安全対策検討(ゾーン30プラスの整備計画(新たな1エリア)) ・対策完了(卒業)判定の結果、国4区間、県22区間が対策完了と判定

2. 第35回委員会における主な指摘事項と対応

- ・ 一般国道4号古河市大堤交差点について
- ・ 既に対策完了(卒業)した区間について

2. 第35回委員会における主な指摘事項と対応

第35回委員会における主な指摘事項と対応

・第35回委員会でご指摘を頂いた事項について、対応方針を整理しました。

議事	指摘事項	対応方針
一般国道4号古河市大堤交	都市計画道路の整備や、周辺の開	令和7年3月に茨城県渋滞対策アドバイザー会議を開催し、当該交
差点について	発事業を含めた、エリア全体での	差点について議論し、対策検討を実施しましたので、P6で検討結果
	対策や茨城県と古河市との連携が	を説明します。
	必要である。	
既に対策完了(卒業)した区	 事故ゼロプランの取り組みの中で、	対策完了した事故危険区間を対象に死傷事故発生件数の増減状
間について	既に対策完了(卒業)した区間につ	況や最新データを用いて、事故ゼロプランの選定指標・基準に該当
	いて、近年、事故が増えている区	するかを確認しましたので、P19で説明します。
	間がないか確認する必要がある。	

2. 第35回委員会における主な指摘事項と対応

一般国道4号古河市大堤交差点について:対策検討結果

渋滞の現状分析、要因分析を踏まえて、対策を下記の通りとしております。

至 常総・境

要因分析と対策方針

渋滞状況

慢性的に全方向の渋滞 が発生。国道4号は、北 行き・南行き車線ともに、 大堤交差点を先頭に速 度低下が発生。

●直進車

要因

国道4号における直進車を捌 く青時間不足による大堤交差

渋滞は国道354号の方が激し く、信号の変わり目に無理な 直進が発生。

点の交通処理能力不足

※「短期」: 道路管理者の判断で対策実施可能な対策「中長期」: 対策実施の判断も含めて協議・検討が必要な対策

対策方針

- 直進交通容量の拡大
- -信号現示の適正化
- 国道354号も含めた 広域的な対策が必要

点の立体化」等が想定される。

至 常総・境

- 具体の対策内容案 ①ゼブラ帯を活用して右折レーン延
- 伸(交差点内処理能力向上) ②左折レーン新設
- ③左折フリーレーンの本線接続
- ④信号現示の調整(県警本部と調整 予定)

延長25m

- ⑤交差点改良
- ⑥都市計画道路の整備
- ⑦交差点の立体化等

中長期 (想定)

短期

短期

短期

短期

等

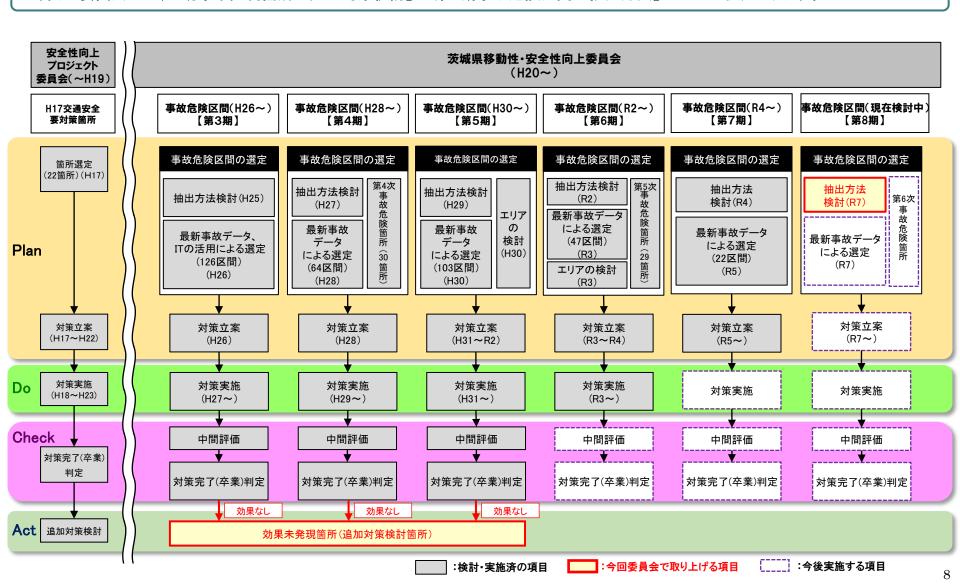
渋滞対策の立案 赤字:提案する対策工種(短期) 緑字:提案する対策工種(中長期) ■対策後(イメージ) 至 館林・北川辺 ■現況(イメージ) 至 館林·北川辺 (関係機関と調整中) ③国道354号からの左折 フリーレーンを本線へ接続 右折レーンが短く、 ①右折レーンを 直進・左折車を阻害 東 30mから36mに延伸 至 至東 宇 4)信号現示の調整(県 右折レーンが短く、 ①右折レーンを 警太部と調整予定) ●右折車 直進・左折車を阻害 30mから50mに延伸 ※中長期対策としては、「⑤交差点改 ●左折車 良」や「⑥都市計画道路の整備」、「⑦ 左折滞留車が 国道354の滞留に ②左折レーンの新設 周辺の開発事業状況を踏まえた交差 後続の直進車を阻害 より左折車も滞留

3. 幹線道路の交通安全対策検討

- ・ 事故ゼロプランの取り組み
- ・ 対策効果未発現箇所の追加対策検討
- 路面標示の検討について
- ・ 今後の事故ゼロプランの進め方について

事故ゼロプランの取り組みについて

- ・前回の第35回委員会では、第3期、第4期、第5期事故危険区間の「中間評価」と「対策完了(卒業)判定」について確認しました。
- ・今回の委員会では、「効果未発現箇所の追加対策検討」と「第8期事故危険区間の抽出方法」について取り上げます。

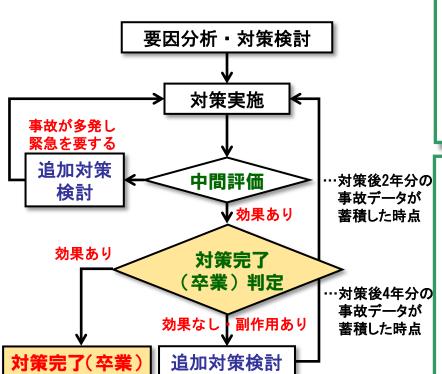


事故ゼロプラン対策完了(卒業)の考え方について

- ・対策実施後の事故データが4年分蓄積した時点で、「対策完了(卒業)判定」を実施します。(第27回委員会で承認)
- 判定は、以下の内容で評価を行います。
 - (1)事故件数の減少に閾値を設ける(選定時と比較し4割以上減少しているかどうかを確認)
- ②「最新(第7期)」の事故危険区間選定指標の合致状況を確認

第27回委員会で承認済

■対策完了(卒業)判定の実施フロー



中間評価

■対象

対策実施後の事故データが2年分蓄積した箇所

- ■効果評価の視点
- ①対策前後で交通事故発生件数(総量)を比較(事故減少検証)
- ②対策前後で事故の種類(着目事故)の変化や当事者別の発生件数を比較 (副作用検証)

対策完了(卒業)判定

■対象

対策実施後の事故データが4年分蓄積した箇所

- ■効果評価の視点
- ①対策前後で交通事故発生件数(総量)を比較 (選定時と比較し4割以上減少しているかどうかを確認)
- ②最新(第7期)の事故危険区間選定指標に該当しないことを確認
- ⇒①、②の両方を満たす箇所を対策完了(卒業)とする ただし、事故データ以外で選定された箇所(アンケート等)については対策前 の事故が少ないことも考えられるため、②の判定のみとする。

効果未発現箇所の追加対策検討 国管理(1区間)

・第35回委員会の中間評価による追加対策区間は、国管理の下記1区間が該当し、今回の委員会で対策検討した結果をご提示します。

【R2対策箇所(中間評価箇所)】

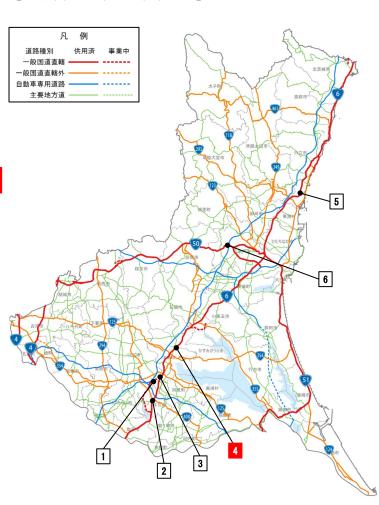
※事故データ(R3~R4)

_						<i>∧</i> √-		(110 1117)							
図		管				対策	総事故件数 (件/年)			着目事故件数 (件/年)					
番	区分	理者	路線名	市町村	箇所名	年	対策前	対策後	事故增減	着目事故	対策前	対策後	着目事故 増減		
1	第3期(ITデータ)	H	一般国道6号	つくば市	稲岡交差点	R02	1.0	0.0	減少	右折	0.3	0.0	減少		
2	第4期(事故データ)	国	一般国道6号	牛久市	柏田町交差点付近(区間)	R02	2.3	0.0	減少	出会い頭	0.5	0.0	減少		
	かずの(争取)))	1	双国足りつ	十八市	相田町又是無竹匠(色間)	RU2 2.3		0.0	1104.9	追突	1.3	0.0	減少		
					中村南1丁目(区間)		1.8			右折	0.3	0.0	減少		
3	第4期(事故データ)	国	一般国道6号	土浦市		R02		0.5	減少	追突	1.0	0.5	減少		
										正面衝突	0.5	0.0	減少		
4	第4期(事故データ)	国	一般国道6号	土浦市	中貫工業団地入口交差点付近 (区間)	R02	1.3	3.0	増加	追突	1.3	3.0	増加		
5	第4期(事故データ)	囯	一般国道6号	日立市	森山町2丁目(区間)	R02	5.8	1.0	減少	追突	3.8	0.5	減少		
L	איינא (ארנא איינא	1	が区間に	ㅁ亚미	参照-12.1 日 (区間)	11.02	5.0	1.0	111112	人対車両	0.5	0.0	減少		
6	第4期(事故データ)	国故データ) 国 一般国道50号 水戸市 加倉井町 (区間)		R02	1.5	0.5	減少	追突	1.5	0.5	減少				

注1)対策前は最新の事故データに基づく条件で集計範囲を見直している

:事故増加

【R2対策箇所位置図(国管理)】



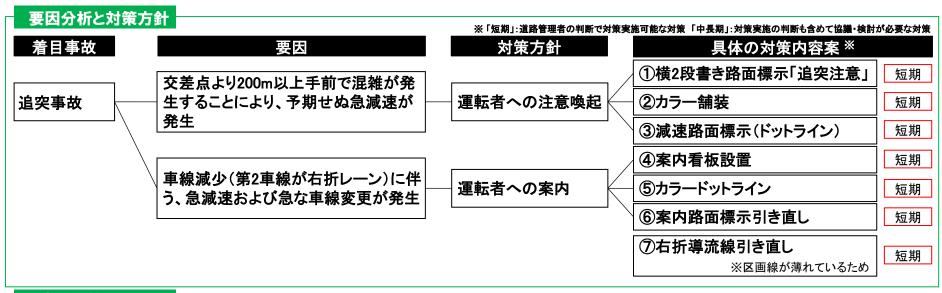
追加対策検討結果:一般国道6号土浦市中貫工業団地入口交差点付近(区間)

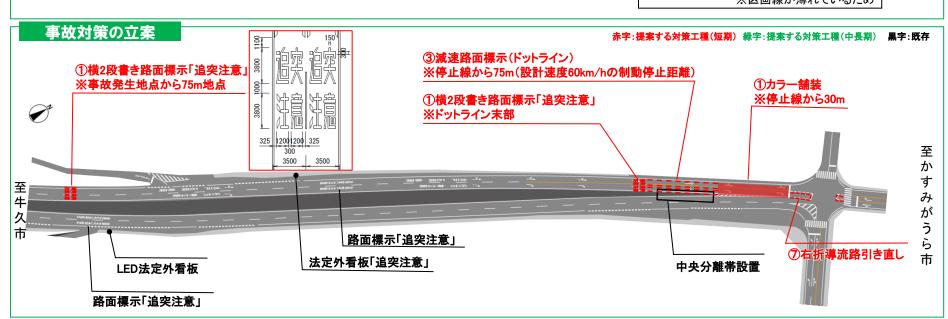
・当該区間では令和2年に対策を実施したものの、近年事故が増加しているため(下り車線に集中)、追加対策検討を行いました。



追加対策検討結果:一般国道6号土浦市中貫工業団地入口交差点付近(区間)

・現状分析、要因分析を踏まえて、対策を下記の通りとしております。

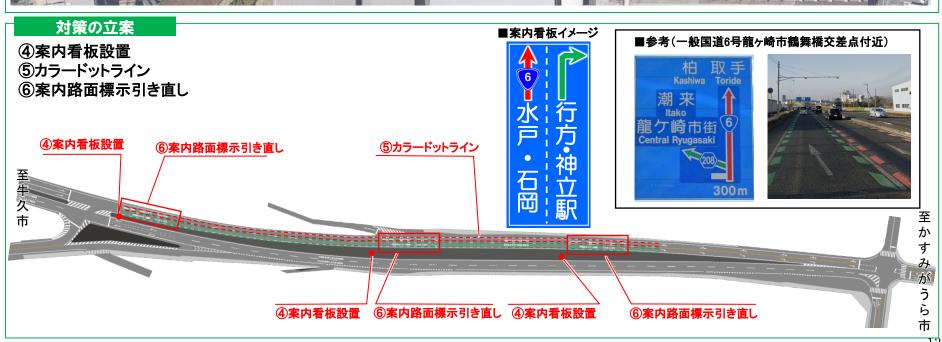




追加対策検討結果:一般国道6号土浦市中貫工業団地入口交差点付近(区間)

車線減少に伴う、急減速および急な車線変更による追突事故を防止するため、対策を下記の通りとしております。





効果未発現箇所の追加対策検討 県管理(4区間)

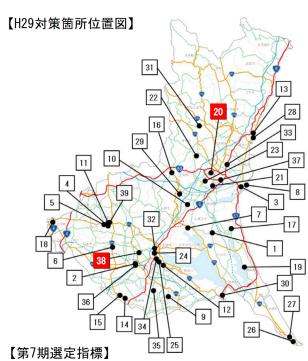
・第33回委員会の対策完了(卒業)判定による追加対策区間は、県管理の下記2区間が該当し、今回の委員会で対策検討した結果をご提示します。

【H29対策箇所(対策完了(卒業)判定)】

接換性	(III	29別來固	ולל	٠,	刈來 无	」(学表)	十1) 足 / 】								×.	※事故データ(H30·								
##								総事故件数 (件/4年)										選定指制 (件/4年	煙 E)					
2	番	区分	ID	管理	路線名	市町村	箇所名 対策年		(選定	対策後	上滅	串	死亡者数	者自 転車	夜間事故	子供事故	者事	歩行者事		衝突	物衝突事	車事		対策完 (卒業)判
第三期地田中一) 72 株 主際地西田田中一名 大規模人口交換点 103 0 2 0 10 0 10 0 10 0 10 0 10 0 10 0 10 0 10 0	1	第2期(事故データ)	18	県	主要地方道8号	行方市	上山交差点	H28	10	4	0	518.5	0	0	1	0	2	0	1	0	0	0	-	0
日本語語の中でできまった。 122 品 - 画報画は199 下雲市	2	第2期(事故データ)	31	県	主要地方道19号	つくば市	石居交差点	H28	-11	4	0	210.7	1	1	2	0	2	0	2	0	0	1	-	0
□ 報知が日本データ) 12 日 一 一般の直に30年	3	第2期(事故データ)	73	県	主要地方道2号	東茨城郡大洗町	大洗駅入口交差点	H28	9	3	0	39.4	1	0	1	0	1	0	2	0	1	0	-	0
	4	第3期(事故データ)	122	県	一般県道125号	下妻市	小野子T字路交差点	H28	8	-1	0	39.5	0	0	0	0	0	0	-1	0	0	0	-	0
第四回では中で・・・・ 137 第 一般無温355号 小葉葉市	5	第3期(事故データ)	123	県	一般県道125号	下妻市	長塚三差路交差点	H28	12	2	0	78.9	0	2	0	-1	0	0	0	0	0	0	-	0
	6	第3期(事故データ)	126	県	一般県道294号	常総市	石下高校南交差点	H28	8	2	0	68.4	0	1	0	0	2	0	0	0	0	0	-	0
類別的に向けでプラン 143	7	第3期(事故データ)	137	県	一般県道355号	小美玉市	栗又四ケ(区間)	H28	16	4	0	69.8	0	1	1	0	2	-1	2	0	0	0	-	0
類別の情報があった 153	8	第3則(事故データ)	139	県	主要地方道2号	東茨城郡大洗町	東光台前交差点	H28	12	4	0	212.9	0	-1	0	0	2	0	0	0	0	0	-	0
	9	第3期(事故データ)	143	県	主要地方道5号	龍ケ崎市	半田町交差点	H28	9	3	0	148.4	0	0	1	0	1	0	2	0	0	0	-	0
現場の理解の	10	第3期(事故データ)	153	県	主要地方道52号	小美玉市	納場十字路交差点	H28	9	2	0	113.4	0	0	1	0	2	0	0	0	0	0	-	0
現場の報告の中央 151 展 一般問題24号 日立市 水木町1丁目(交養者) 123 11 1 0 283 0 1 1 0 0 0 1 0 0 0	11	第3期(事故データ)	157	県	一般県道131号	下妻市	本宿町1丁目(交差点)	H28	9	2	0	128.2	0	1	1	0	1	0	0	0	0	1	-	0
## 発信素性の表のである。 「は、、一般の正式が特別である。 「は、、一般の正式が特別である。 「は、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、	12	第4期(事故データ)	180	県	一般国道125号	稲敷郡阿見町	中郷2丁目(区間)	H28	12	-1	0	51.2	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	-	0
	13	第4期(事故データ)	181	県	一般国道245号	日立市	水木町1丁目(交差点)	H28	-11	-1	0	28.3	0	1	1	0	0	1	0	0	0	0	-	0
18 京本部本以下の	14	第4期(事故データ)	182	県	一般国道294号	取手市	寺田(区間)	H28	9	3	0	49.9	-1	2	2	0	2	1	-1	0	0	0	-	0
辞目・	15	第4期(事故データ)	183	県	一般国道294号	取手市	米ノ井(区間)	H28	8	3	0	47.4	0	0	1	0	2	0	2	0	0	1	-	0
18	16	第4期(事故データ)	186	県	一般県道311号	笠間市	笠間駅入口交差点	H28	8	0	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	0
日本語画学学院 日本語学学学院 日本語画学学院 日本語学学学学学院学学研究 日本語画学学院学学研究 日本語画学学院学学研究 日本語学学学学学院学学学院学学院学学院学学学院学学学院学学学院学学学院学学学院学学	17	第4期(事故データ)	188	県	主要地方道2号	鉾田市	鉾田土木前交差点	H28	9	3	0	139.2	0	0	3	0	1	0	2	0	0	1	-	0
20 第4版年報子一分 195 県 主要地方温50号 水戸市 男川2丁目(交差点) 123 8 6 5 240.7 0 4 3 1 2 2 2 0 0 0 0 0 0 0 1 2 2 3 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	18	第4期(事故データ)	190	県	主要地方道9号	古河市	中央町1丁目(区間)	H28	-11	3	0	59.2	0	2	1	0	1	0	0	0	0	0	-	0
2日 解析磁程等一か 198 県 主要地方温99号 水戸市 平須町(区間) 1428 12 3 〇 477 0 1 1 1 1 0 0 2 0 0 0 0 0 1 0 2 0 0 0 0	10	WARRING D	101		土面植物港10品	施油士	梅子/衣莱克/	ная			^	50.0	_	_	_		^	_	_	_		,		$\overline{}$
22 第4版年級デーか 195 県 主要地方進5号 東突賊翻城里町 小松交要点 1428 8 2 0 298.8 0 0 1 1 0 2 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	20	第4期(事故データ)	195	県	主要地方道30号	水戸市	見川2丁目(交差点)	H28	8	6	×	240.7	0	4	3	1	2	2	2	0	0	0	-	×
23 第4版字母子 20 県 主要地方選59号 水戸市 整場町交差点) 1428 8 2 0 1833 0 0 0 0 0 0 0 1 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	21	第4期(事故データ)	198	県	主要地方道50号	水戸市	平須町(区間)	H28	12	3	0	47.7	0	1	1	1	1	0	2	0	0	0	-	0
24 第4版字母子 202 県 一級議選123号 土浦市 上高津(区間) 1428 9 4 0 331 0 0 0 0 1 0 2 1 0 2 1 0 0 0 0 0 0 0 0	22	第4期(事故データ)	199	県	主要地方道51号	東茨城郡城里町	小松交差点	H28	8	2	0	299.8	0	0	1	0	2	0	0	0	0	1	-	0
25 解析磁性部子一外 20 県 一級議選203号 稲敷都阿見町 阿見(宮間) 128 12 3 0 542 0 2 1 0 3 1 1 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	23	第4期(事故データ)	200	県	主要地方道59号	水戸市	萱場町(交差点)	H28	8	2	0	183.3	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	-	0
26 1429事故危険箇所 215 県 一般国道124号 神極市 本新町交差点 1428 9 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	24	第4期(事故データ)	202	県	一般県道123号	土浦市	上高津(区間)	H28	9	4	0	33.1	0	0	0	0	1	0	2	1	0	0	-	0
27 1七3事故危険部所 216 県 一般国道124号 神格市 液域(区間) 1七28 9 5 0 60.7 0 0 1 0 0 0 4 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	25	第4期(事故データ)	204	県	一般県道203号	稲敷郡阿見町	阿見(区間)	H28	12	3	0	54.2	0	2	1	0	3	1	1	0	0	0	-	0
28 H29事故危険無所 218 県 一般面道249号 日立市 大みか割4丁目(区間) H28 8 1 0 143 0 0 1 0 1 0 1 0 1 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	26	H29事故危険箇所	215	県	一般国道124号	神栖市	本新町交差点	H28	9	0	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	0
29 1429事故危険服所 21 県 一般面通355号 笠間市 押辺(区間) 1428 15 9 0 1466 0 0 0 0 0 2 0 7 1 0 0 1 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	27	H29事故危険箇所	216	県	一般国道124号	神栖市	波崎(区間)	H28	9	5	0	60.7	0	0	1	0	0	0	4	0	0	0	-	0
90 1429事故危険箇所 221 県 主要地方道14号 種酸市 西代(区間) 1428 11 1 0 10.7 0 0 1 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	28	H29事故危険箇所	218	県	一般国道245号	日立市	大みか町4丁目(区間)	H28	8	-1	0	14.3	0	0	1	0	1	0	-1	0	0	0	-	0
3 H29事故危険箇所 223 県 主要地方選24号	29	H29事故危険箇所	219	県	一般国道355号	笠間市	押辺(区間)	H28	15	9	0	104.6	0	0	0	0	2	0	7	-1	0	-1	_	0
22 H29事故危険箇所 224 県 主要地方選24号 土浦市 和毛(交差点) H28 I0 5 〇 107.7 〇 1 2 I I 0 I 0 0 I 0 0 I 一 1 3 0 I 0 0 I 一 1 3 0 I 0 I 0 I 0 I 0 I 0 I 0 I 0 I 0 I 0	30	H29事故危険箇所	221	県	主要地方道11号	稲敷市	西代(区間)	H28	-11	-1	0	10.7	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	-	0
33 H29事故危険箇所 225 県 主要地方派39号 ひたちなか市 市モ十字路交差点付近(区間) H28 10 3 O 679 0 0 1 0 0 0 3 0 0 0 0 1 0 2 0 0 0 1 0 0 0 0 0 0 0 0 0	31	H29事故危険箇所	223	県	主要地方道21号	常陸大宮市	若林(区間)	H28	9	-1	0	11.9	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	-	0
34 H29事故危険無所 227 県 主要地方派46号 土浦市 小岩田西2丁目(交差点) H28 IO 4 O 5172 O 0 2 O 1 O 2 O 0 I O 2 O 0 I O 2 O 0 I O 2 O 0 I O 2 O 0 I O 0 I O I O I O I O I O I O I O I	32	H29事故危険箇所	224	県	主要地方道24号	土浦市	粕毛(交差点)	H28	10	5	0	107.7	0	1	2	1	1	0	-1	0	0	1	-	0
35 H29事故危険無所 228 県 主度地方選4号 龍ケ崎市 若乗町(区間) H28 8 2 O 27.9 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 1 0 1 0 1 0 1 0 0 1 0 0 1 0 0 1 0 0 1 0 0 1 0 0 1 0 0 1 0 0 1 0 0 1 0 0 1 0 0 1 0 0 1 0 0 0 1 0 0 0 1 0 0 0 1 0	33	H29事故危険箇所	225	県	主要地方道38号	ひたちなか市	市毛十字路交差点付近(区間)	H28	10	3	0	67.9	0	0	1	0	0	0	3	0	0	0	-	0
36 H29事故危険箇所 229 県 一般県道143号 つくば市 谷田郎(区間) H28 10 6 O 102,3 1 1 2 0 3 0 3 0 0 1 一 日 1 日 2 日 3 0 3 0 0 1 1 一 日 2 1 2 1 2 1 2 1 3 0 3 0 0 1 1 一 日 2 1 3 0 3 0 0 1 1 1 日 2 1 3 0 3 0 0 1 1 1 日 3 1 1 2 1 1 1 1 1 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	34	H29事故危険箇所	227	県	主要地方道48号	土浦市	小岩田西2丁目(交差点)	H28	10	4	0	517.2	0	0	2	0	1	0	2	0	0	1	-	0
25 <u>(142) 年後の発展所</u> 231 県 一般周辺277号 つくば布 否要1丁目南交差点 H28 12 11 W 216.3 0 0 4 0 2 0 3 0 0 1 -	35	H29事故危険箇所	228	県	主要地方道48号	龍ケ崎市	若柴町(区間)	H28	8	2	0	27.9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	-	0
38 1-129事故危険遺所 231 県 一般県道237号 つくば市 西妻!丁目南交差点 1-12 11 ま 216.3 0 0 4 0 2 0 3 0 0 1 一	36	H29事故危険箇所	229	県	一般県道143号	つくば市	谷田部(区間)	H28	10	6	0	102.3	1	1	2	0	3	0	3	0	0	1	-	0
	0.7	LIGO OF AN AN AND DESCRIPTION	220	-	#3/E 78 con E	*==	二十四年(京明)	1100			^	22.0	_		^				_	_		_		_
99 H29事故危険箇所 233 県 一般集道357号 下妻市 小島(区間) H28 9 2 ○ 31.0 0 2 1 0 1 1 1 0 0 0 0 0 0	38	H29事故危険箇所	231	県	一般県道237号	つくば市	吾妻1丁目南交差点	H28	12	-11	×	216.3	0	0	4	0	2	0	3	0	0	1	-	×
	39	H29事故危険箇所	233	県	一般県道357号	下妻市	小島(区間)	H28	9	2	0	31.0	0	2	1	0	1	1	0	0	0	0	Ε-	0

注1) 県管理は総事故件数が8件/4年以上の区間を選定指標確認の対象とする(8件/4年未満の箇所は対象としない) 注2) 第3期(ITデータ)の箇所はWEBアンケートに基づく選定箇所のため、4割減少の確認の対象としない。

注3)対策前は最新の事故データに基づく条件で集計範囲を見直している



ì	選定指標	選定基準
	死傷事故率	300 件/億台キロ以上
基本指標	死傷事故件数	16 件以上/4年
	死者数	2 人以上/4年
	步行者自転車事故	8 件以上/4年
	夜間事故	9 件以上/4年
	子供事故	2 件以上/4年
地域指標	高齢者事故	5 件以上/4年
	横断歩行者事故	5 件以上/4年
	追突事故	13 件以上/4年
	正面衝突事故	2 件以上/4年
新たな指標	工作物衝突事故	1 件以上/4年
利には担信	二輪車事故	3 件以上/4年

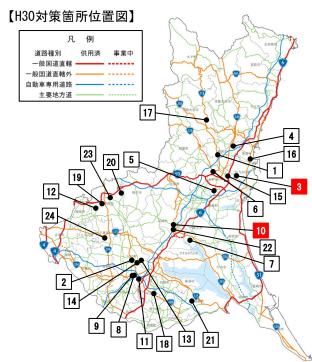
効果未発現箇所の追加対策検討 県管理(4区間)

・第35回委員会の対策完了(卒業)判定による追加対策区間は、県管理の下記2区間が該当し、今回の委員会で対策検討した結果を ご提示します。

【H30対策箇所(対策完了(卒業)判定)】

	Γı	いり対象固	(刈水兀	未)刊化)	1													※事	R1~R4)				
								総事故件数 (件/4年)					選定指標 (件/4年)										
	図番	区分	管理者	路線名	市町村	箇所名	対策年		対策後	4割以 上減少	死傷事故 率 (件/億台‡口)	死亡 者数	歩行 者自 転車 事故	夜間 事故	子供事故	高齢者事故	横断 歩行 者事 故	追突事故	正面 衝突 事故	工作物衝突事故	二輪 車事 故	指標該当	対策完了 (卒業) 判定
								Pr()			300件/億台井口以上		8件 以上	9件 以上	2件 以上	5件 以上	5件 以上	13件 以上	2件 以上	1件 以上	3件 以上		
	1	第2期(事故データ)	県	一般国道118号	那珂市	上新田交差点	H30	8	3	0	145.5	0	0	1	0	2	0	0	0	0	0	なし	0
╛	2	第2期(事故データ)	県	主要地方道19号	つくば市	研究学園北交差点	H30	9	4	0	123.1	0	3	1	1	1	1	0	0	0	1	なし	0
Ц	3	第2期(事故データ)	県	主要地方道38号	ひたちなか市	金上十字路交差点	H30	8	5	×	287.3	0	2	4	1	1	0	1	0	0	2	なし	×
	4	第2期(事故データ)	県	一般国道349号	那珂市	額田十字路交差点	H30	9	2	0	263.1	0	0	0	0	2	0	1	0	0	0	なし	0
	5	第2期(事故データ)	県	主要地方道50号	水戸市	(区間名なし)	H30	15	3	0	61.7	0	0	1	0	0	0	3	0	0	0	なし	0
	6	第2期(事故データ)	県	一般国道123号	水戸市	台渡里交差点	H30	8	4	0	180.9	0	1	1	0	2	0	2	0	0	0	なし	0
	7	第2期(事故データ)	県	一般県道144号	小美玉市	(区間名なし)	H30	12	0	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	なし	0
	8	第3期(事故データ)	県	一般国道354号	つくば市	榎戸(交差点)	H30	10	3	0	97.5	0	0	1	0	0	0	2	0	0	0	なし	0
	9	第3期(事故データ)	県	一般国道354号	つくば市	上横場東交差点	H30	10	0	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	なし	0
	10	第3期(事故データ)	県	一般国道355号	石岡市	柏原(交差点)	H30	8	3	0	415.4	0	0	2	0	0	0	2	0	0	0	なし	×
٦	11	第3期(事故データ)	県	一般国道408号	つくば市	布袋池交差点	H30	12	1	0	29.5	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	なし	0
	12	第3期(事故データ)	県	主要地方道23号	筑西市	房山交差点	H30	8	4	0	191.3	0	0	1	0	1	0	1	0	0	0	なし	0
	13	第3期(事故データ)	県	主要地方道24号	つくば市	花園(区間)	H30	6	0	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	なし	0
	14	第3期(事故データ)	県	主要地方道24号	つくば市	つくば駅西交差点	H30	13	1	0	56.1	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	なし	0
	15	第3期(事故データ)	県	主要地方道63号	ひたちなか市	枝川 (区間)	H30	6	0	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	なし	0
	16	第3期 (ITデータ)	県	一般国道245号	那珂郡東海村	原子力機構前交差点	H30	4	5	-	150.7	0	0	1	0	1	0	4	0	0	0	なし	0
	17	第4期(事故データ)	県	一般国道118号	常陸大宮市	鷹巣(区間)	H30	11	2	0	14.6	0	0	0	0	1	0	2	0	0	1	なし	0
	18	第4期(事故データ)	県	一般国道408号	牛久市	岡見交差点	H30	8	1	0	42.7	0	1	0	0	1	1	0	0	0	0	なし	0
	19	第4期(事故データ)	県	主要地方道23号	筑西市	西方(区間)	H30	9	3	0	48.0	0	1	1	0	1	0	1	0	0	0	なし	0
	20	第4期(事故データ)	県	主要地方道45号	筑西市	門井(区間)	H30	10	2	0	110.7	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	なし	0
	21	第4期(事故データ)	県	一般県道103号	稲敷市	高田 (区間)	H30	9	2	0	30.9	0	1	1	0	1	0	0	1	0	0	なし	0
	22	H29事故危険箇所	県	一般国道355号	石岡市	鹿の子2丁目(区間)	H30	9	3	0	60.3	0	0	3	0	1	0	2	0	0	2	なし	0
	23	H29事故危険箇所	県	主要地方道14号	筑西市	直井(区間)	H30	8	1	0	20.4	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	なし	0
	24	H29事故危険箇所	県	一般県道357号	下妻市	田下 (区間)	H30	16	3	0	46.9	0	0	2	0	2	0	2	0	0	0	なし	0

- 注1)県管理は総事故件数が8件/4年以上の区間を選定指標確認の対象とする(8件/4年未満の箇所は対象としない)
- 注2)第3期(ITデータ)の箇所はWEBアンケートに基づく選定箇所のため、4割減少の確認の対象としない
- 注3)対策前は最新の事故データに基づく条件で集計範囲を見直している



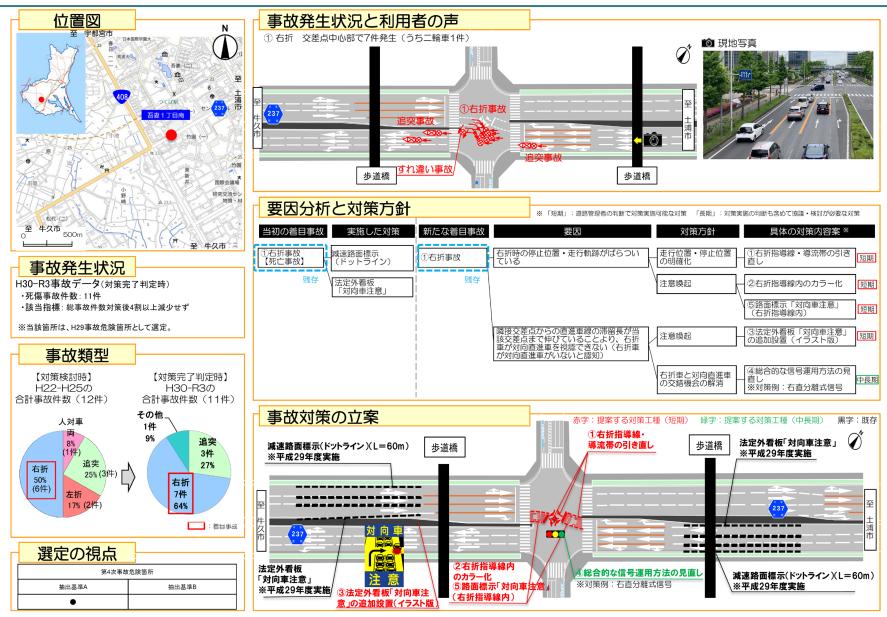
【第7期選定指標】

:指標該当

【										
j	建定指標	選定基準								
	死傷事故率	300 件/億台キロ以上								
基本指標	死傷事故件数	16 件以上/4年								
	死者数	2 人以上/4年								
	步行者自転車事故	8 件以上/4年								
	夜間事故	9 件以上/4年								
	子供事故	2 件以上/4年								
地域指標	高齢者事故	5 件以上/4年								
	横断歩行者事故	5 件以上/4年								
	追突事故	13 件以上/4年								
	正面衝突事故	2 件以上/4年								
立(** **********************************	工作物衝突事故	1 件以上/4年								
新たな指標	二輪車事故	3 件以上/4年								

追加対策検討結果:一般県道237号つくば市舎妻1丁目南交差点

・現状分析、要因分析を踏まえて、対策を下記の通りとしております。



路面標示の検討について:これまでの検討状況と横2段書きの試行

- ・令和5年度から運転者への注意喚起対策として、有効な路面標示の検討を実施してきました。
- ・前回の第35回委員会時には、道路利用者アンケート調査において、横2段書き路面標示が分かりやすいと回答結果を報告しました。
- ・その結果を踏まえ、令和7年3月に水戸市内の2箇所および日立市内の2箇所の計4箇所で試行的に整備しました。

▼これまでの検討状況

検討時期	前年度までの意見・対策実施状況	検討内容	検討結果
令和5年8月 (第32回委員会)	一般的な縦書きの路面標示は前の車に 隠れる場合があり、横文字の路面標示と いう方法も考えられる。 (第29回委員会での意見)	横文字の路面標示の見え方をド ライビングシミュレーターを用いた 動画を作成し、道路利用者にヒア リングを実施。	調査の結果「横書きの路面標示」が見やすいという意見が多く見られたことから、交差点の流入部や、渋滞が激しい単路 部では「追突注意」「車間確保」「事故多発」等の横文字路面 標示を使用することを今後検討する。
令和6年2月 (第33回委員会)	横文字路面標示の文字の大きさ等、標 示方法について、他の事例を参考に検 討してほしい。 (第32回委員会での意見)	参考事例の収集や合同現地診断で頂いた意見及びWEBアンケートを実施し、表示方法について検討。	WEBアンケートの結果、「横1段書き」や「カラー舗装による強調」の方が注意力が向上すると回答した人が多い結果であった。
令和7年2月 (第35回委員会)	令和6年9月に国道6号取手市酒詰交差 点で横文字路面標示(1段書き)を試行。	試行箇所(国道6号取手市酒詰交差点)を対象に、横1段書き路面標示の視認性に関して道路利用者へのアイマークカメラ調査やWEBアンケート調査を実施。	道路利用者アンケート結果でも見えにくいと回答を得るとともに、一般ドライバーへのアイマークカメラ調査でも、前方車両を注視しており、路面標示を見ていない結果であった。 そこで、横2段書きの検討を行い、アンケートでわかりやすいと回答を得たことから、2段書きの対策検討を実施。

▼横2段書き路面標示の試行

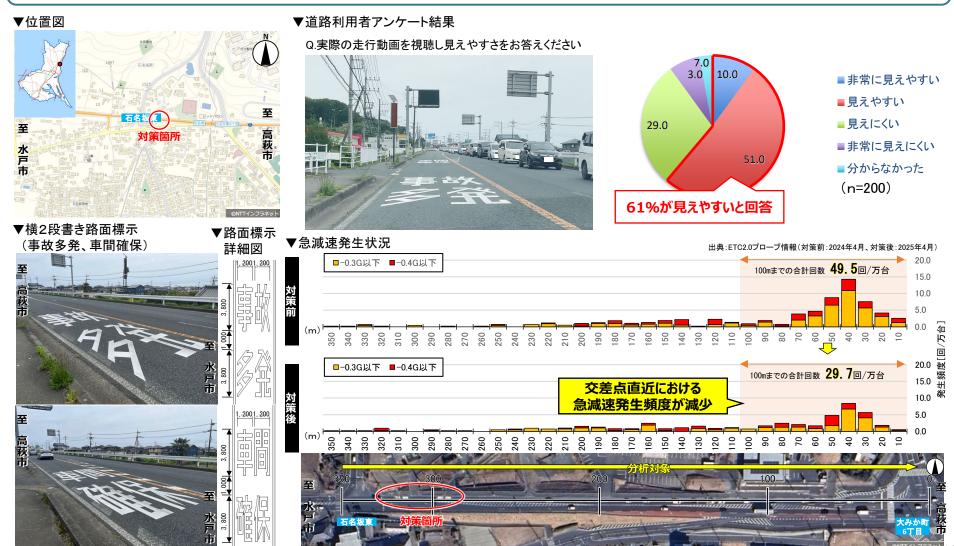




3. 幹線道路の交通安全対策検討:路面標示の検討について

一般国道6号日立市石茗坂東交差点付近の整備結果

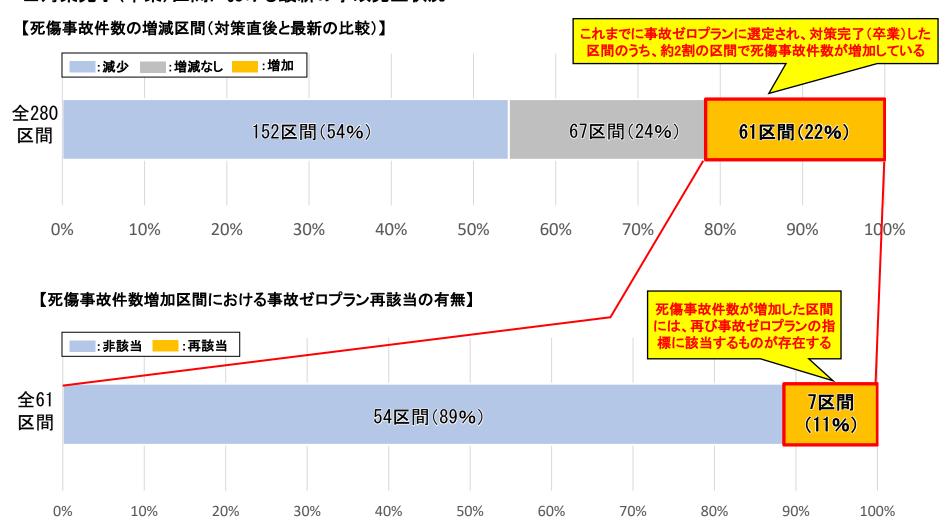
- ・横2段書き路面標示の効果について、道路利用者アンケート結果では61%が見えやすいと回答を得ており、また、急減速発生状況でも 交差点直近における発生頻度が減少しているため一定の効果があることが確認できました。
- ・今後も経過観察を続け、事故データによる検証を進めていくとともに、事故が多い箇所や追加対策検討箇所(事故が減少しない箇所もしくは増加している箇所)を中心に、横2段書き路面標示を導入していきます。



今後の事故ゼロプランの進め方:対策完了区間の事故発生状況

- ・これまで事故ゼロプランに選定された区間のうち、280区間が対策完了(卒業)となっています。
- ・このうち、その後の事故が増加した区間が61区間(約2割)があり、再び事故ゼロプランに該当する区間が7区間(約1割)存在します。

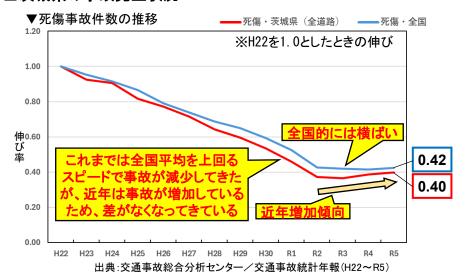
■対策完了(卒業)区間における最新の事故発生状況



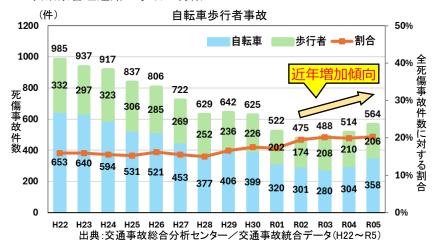
近年の動向整理

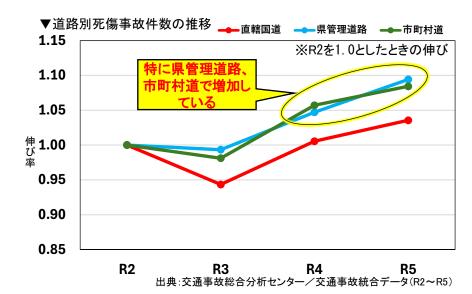
- ・事故ゼロプランの施策が開始された平成22年以降、茨城県の死傷事故件数は長らく減少傾向が続いていましたが、近年は増加傾向に 転じており、特に茨城県管理道路、市町村道で増加しています。
- ・茨城県管理道路における事故の特徴として、自転車歩行者事故や高齢者事故が近年増加しています。

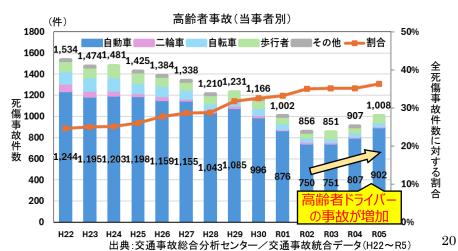
■茨城県の事故発生状況



▼茨城県管理道路の事故の特徴

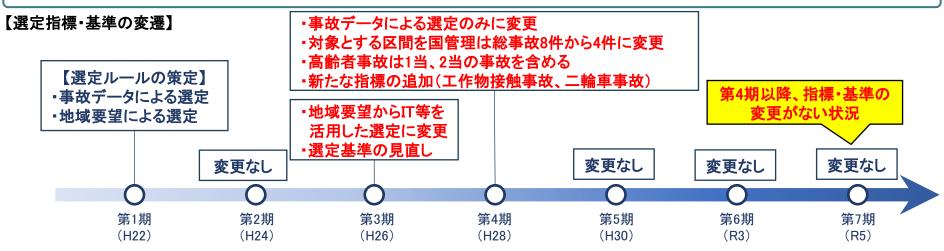




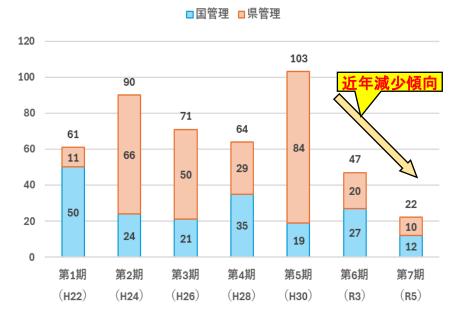


事故ゼロプランの課題:選定指標・基準の見直し

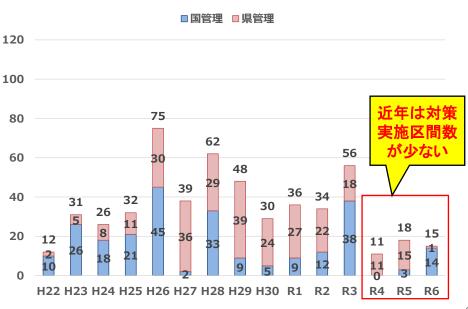
・現在の選定指標や基準値は、第4期(H28)に設定した内容であり、近年は指標に該当する区間がない項目もある状況で、選定される 事故危険区間が少なくなっています。その結果、近年は対策実施区間数も減少している状況です。



【事故危険区間数(事故データによる選定)の推移】



【対策実施区間数の推移】



事故ゼロプランの課題:第7期と同じ手法で選定した場合の区間数

・新たな事故危険区間【第8期】について、従来の選定指標で抽出すると、国管理の道路10区間、県管理の道路5区間と該当区間数が少ない状況です。

事故危険区間第8期の選定結果(区間数)

茨城県内の幹線道路【約24,900区間】

最新事故データによる選定

総合的な指標

死傷事故率 など

県内の特徴的な事故の指標

歩行者・自転車事故 など

新たな指標

工作物接触事故、二輪車事故

第1期〜第7期事故危険区間 およびH25・H29・R4事故危険箇所 選定済み箇所の除外

除外対象 国:24区間

県:14区間

国:34区間

県:19区間

新たな事故危険区間【第8期】

国:10区間 県:5区間

(常陸:9区間 宇都宮:1区間)

従来の手法の場合は、 選定される区間が少ない

■選定指標・基準

	■ 选足拍信 * 基年													
- F-F			常陸河川		(参考)		R2−R5 基準該当区 検討済みの区		選定基	R2-R5 基準該当区∣	間数			
区分	選定指標	選定基準	国道管内 平均値 R2-R5	選定基準の根拠	第7期の 選定基 準	<u> </u>			=					
			RZ-NJ		年	常陸	宇都宮	県	常陸	宇都宮	県			
総合な	①死傷事故率	300件/億 台キロ 以上				1区間	0区間	2区間	11区間	1区間	8区間			
総合的な指標	②死傷事故件数	女 12件以上 2.4件		平均事故件数の 5倍	16件	0区間	0区間	2区間	7区間	1区間	4区間			
標	③死亡者数	2人以上	_	ワースト1位	2人	0区間	0区間	0区間	0区間	0区間	0区間			
県	④歩行者自転車事 故	6件以上	1.3件	平均事故件数の 5倍	8件	0区間	0区間	0区間	1区間	0区間	0区間			
内の特	⑤夜間事故	7件以上	1.5件	平均事故件数の 5倍	9件	0区間	0区間	0区間	3区間	0区間	1区間			
徴的な	⑥子供事故 (1当、2当を含む)	2件以上	-	ワースト1位	2件	0区間	0区間	0区間	2区間	0区間	4区間			
県内の特徴的な事故に関する指標	⑦高齢者事故 (1当、2当を含む)	5件以上	-	過去の選定指標	5件	2区間	0区間	1区間	10区間	0区間	6区間			
関す	⑧横断歩行者事故	4件以上	-	ワースト1位	5件	0区間	0区間	1区間	1区間	0区間	2区間			
る指標	9追突事故	10件以上	1.9件	平均事故件数の 5倍	13件	0区間	0区間	0区間	5区間	0区間	0区間			
127	⑩正面衝突事故	2件以上	_	ワースト1位	2件	2区間	0区間	0区間	3区間	0区間	0区間			
追加指標	; ⑪工作物接触事故	1件以上	_	ワースト1位	1件	3区間	0区間	1区間	6区間	0区間	3区間			
指期 標	⑫二輪車事故	3件以上	_	ワースト1位	3件	1区間	0区間	0区間	2区間	1区間	0区間			
	(1つの区	【間が複数指標	票に該当するサ	R2−R5 該当区 場合があるため単純和と		9区間	1区間	5区間	31区間	3区間	19区間			

- ※選定基準は、以下のうちもっとも小さい値を採用。「選定基準の根拠」にいずれかを記載。
 - ①常陸河川国道管内の事故発生区間における平均事故件数の5倍
 - ②常陸河川国道管内のワースト1位 ③第7期の選定基準
- ※国管理は総事故件数が 4 件/4 年以上の区間、県管理は 8 件/4 年以上の区間を対象とする。

今後の事故ゼロプランの策定方針

近年の茨城県の事故発生状況やこれまでの事故ゼロプランの課題を踏まえて、今後は事故ゼロプランの選定ルールの見直しと、過去に選定された区間も含めた箇所選定を行う方針で検討しています。

既存計画の課題

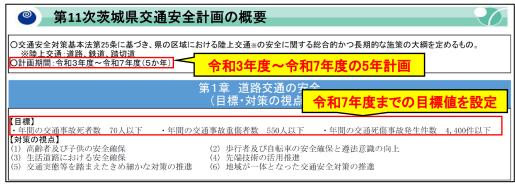
○既存計画・手法のままでは、**選定される事故危険区間が少なくなり、対策実施区間数も減少している**ため、 今後は**茨城県全体の事故を減少していくのは困難**であることが想定される。



課題に対する対応方針

- 〇最新動向を踏まえて、事故ゼロプランの選定ルール(指標・基準値)の見直しを行う。
- 〇過去に事故ゼロプランに選定され、対策が実施された区間も含めて、筒所選定を行う。

参考:第11次茨城県交通安全計画の概要



参考:第11次茨城県交通安全計画(R3~R7)の目標達成状況

目標	計画策定時 (令和2年)	目標値 (令和7年)	実績 (令和6年)	達成状況 (令和6年 時点)
死者数	84人	70人以下	94人	×
重傷者数	718人	550人以下	649人	×
死傷事故 件数	6,049件	4,400件以下	6,005件	×

課題を踏まえた事故危険区間【第8期】の選定指標

・既存計画の課題を踏まえ、選定指標や基準値の見直しを行った最新事故データによる選定では、国管理の道路68区間、県管理の道 路59区間が新たな事故危険区間になります。

事故危険区間第8期の選定結果(区間数)

茨城県内の幹線道路【約24.900区間】

最新事故データによる選定

総合的な指標

死傷事故率、死傷事故件数、死亡者数

県内の特徴的な事故の指標

歩行者・自転車事故 など

第4期追加指標

工作物接触事故、二輪車事故

第8期追加指標

•重傷者数

(理由:上位計画での設定指標のため)

・死傷事故率と死傷事故件数

(理由:事故率が低くても、事故件数が多い危険箇所があるため)

・小規模交差点の事故集中箇所

(理由:信号未設置の細道路との交差点で事故が多発する危険箇所があるため)

新たな事故危険区間【第8期】

国:68区間 県:59区間

(常陸:62区間 宇都宮:6区間)

- ※選定基準は、以下のうちもっとも小さい値を採用。「選定基準の根拠」にいずれかを記載。
 - ①常陸河川国道管内の事故発生区間における平均事故件数の4倍
 - ②常陸河川国道管内のワースト1位
 - ③第7期の選定基準
- ※国管理は総事故件数が4件/4年以上の区間、県管理は8件/4年以上の区間を対象とする。
- 但し、選定指標③「死亡者数」、⑥「子供事故」、③「重傷者数」については選定優先度が高いため 国管理は総事故件数が 2 件/4 年以上の区間、県管理は 4 件/4 年以上の区間を対象とする。
- ※選定指標個「死傷事故率と死傷事故件数」の選定基準の根拠は、茨城県内の幹線道路事故を対
- ※選定指標®「小規模交差点の事故集中箇所」は、幅員5.5m未満の細道路との交差部で事故が多 発している単路区間を対象とする。

■選定指標·基準

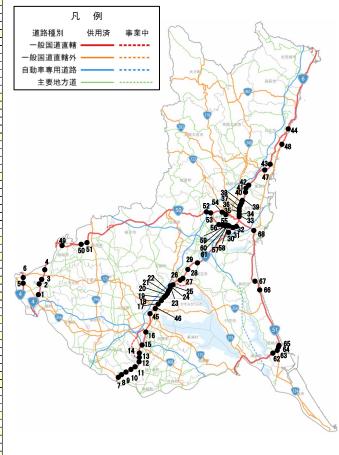
				常陸河川		(参考)	R2-R5 選定基準該当区間数					
	区 分	選定指標	選定基準	国道管内 平均値 R2-R5	選定基準の根拠	第7期の 選定基準	国		県			
							常陸	宇都宮				
	総合	①死傷事故率	300件/億台キロ 以上				11区間	1区間	9区間			
	総合的な指標	②死傷事故件数	10件以上	2.4件	平均事故件数の 4倍	16件	21区間	2区間	14区間			
	標	③死亡者数	2人以上	_	ワースト1位	2人	2区間	0区間	1区間			
	県内	④步行者自転車事故	5件以上	1.3件	平均事故件数の 4倍	8件	3区間	1区間	3区間			
	内の特	⑤夜間事故	6件以上	1.5件	平均事故件数の 4倍	9件	7区間	2区間	4区間			
	徴的な	⑥子供事故 (1当、2当を含む)	2件以上	-	ワースト1位	2件	2区間	0区間	7区間			
	事故	⑦高齢者事故(1当、2当を含む)	5件以上	-	過去の選定指標	5件	10区間	0区間	7区間			
	関す	⑧横断歩行者事故	4件以上	-	ワースト1位	5件	1区間	0区間	3区間			
	の特徴的な事故に関する指標	9追突事故	8件以上	1.9件	平均事故件数の 4倍	13件	12区間	1区間	2区間			
	175	⑩正面衝突事故	2件以上	_	ワースト1位	2件	3区間	0区間	0区間			
	追加指標第4期	⑪工作物接触事故	1件以上	-	ワースト1位	1件	6区間	0区間	4区間			
	指期標期	⑫二輪車事故	3件以上	-	ワースト1位	3件	2区間	1区間	0区間			
		③重傷者数	4人以上	-	ワースト1位	-	2区間	1区間	4区間			
	追加指標	⑪死傷事故率と死傷事 故件数	100件/億台キロ 以上 かつ8件以上	24.1件/億 台キロ 1.9件	茨城県平均死傷 事故率の4倍と 茨城県平均事故 件数の4倍	-	36区間	5区間	38区間			
5.		①小規模交差点の事故 集中箇所	国:4件以上 県:5件以上	-	管理者別 ワースト1位	_	4区間	1区間	7区間			
j	事故允	危険箇所	社会資本整備重点計画に基づいて 選定される事故多発箇所						追加予定			
			(1つの区間が海数	治煙に該当する	R2-R5 該当		62区間	6区間	59区間			

(1つの区間が複数指標に該当する場合があるため単純和とは異なる)

事故危険区間の選定結果: 国管理

								基本指標					地域指標				第4期3	追加指標		新たな指		備考
No	事務所	路線名	交差点 • 単路	市区町村名	交差点名称	過去の事故ゼ ロプランの該 当有無	死傷事故率	死傷事故 件数	死亡者数	歩行者・ 自転車× 車両事故 件数	夜間事故 件数	子供(15 歳以下)事 故件数(1 当2当)	高齢者 (65歳以 上)事故 件数(1 当2当)	横断者歩 行者事故 件数		正面衝突事故件数	工作物衝突事故件数	二輪車事 故件数 (1当2当 の組み合 わせ)	重傷者数	死傷事故 率と死傷 事故件数	小規模交 差点の事 故集中箇 所	対策完了 (卒業) していた 箇所
						基準値	台中ロ以上	~	2人以上	5件以上	6件以上	2件以上	5件以上	4件以上	v	2件以上	1件以上	3件以上	4人以上		国:4以上、 県:5以上	
2	宇都宮	一般国道4号	交差点 交差点	古河市 古河市	高野交差点 柳橋(北)交差点	第7期	168.7 136.6	11	0		5	_	3	0	9	0	0		2	•		
3	宇都宮	一般国道4号	交差点	古河市	大和田交差点	第1期	182.1	12	1	. 5	6) 3	0	5	0	0	_	2	•		•
4	宇都宮	一般国道4号	交差点	古河市	(仮) 上片田北交差点	第6期	136.6	9		_	6		_	_	5	0	·		1	•		
5	宇都宮	一般国道4号	交差点 単路	古河市	古河駅入口交差点 三杉町交差点付近 (区間)	第7期	415.3 133.1	8	0	_	3	_		_	_	_	_		0	•	•	
7	常陸	一般国道6号	交差点	取手市	白山前交差点	第3期	182.2	11			3	3 0	_		3	0	0		2	•	_	•
8	常陸	一般国道6号	交差点	取手市	井野台交差点		99.4	6	0		1	. 0	5	0	2	0	0		1			
9 10	常陸	一般国道6号	交差点 交差点	取手市 取手市	桑原交差点 小浮気交差点	第1期	149.0 213.3	9			5	_			2	0	·	_	2	•		•
11	常陸	一般国道6号	交差点	取手市	新川交差点	NJ ZNI	137.0	5	1	_	2		_	_		0			0			_
12	常陸	一般国道6号	単路	牛久市	遠山町(区間)		51.9	8	0		1				8	0	0		2			
13	常陸	一般国道6号	交差点 交差点	牛久市 牛久市	みどり野団地西交差点① <u>牛久市役所入口交差点</u>	第7期 第3期	301.9 234.8	9			2		_	_	_		0		0	•		•
15	常陸	一般国道6号	単路	牛久市	イス市技所入口文定点 猪子町 (区間)	卵の側	151.0	9	0		4		_	_	_	_			0	•		•
16	常陸	一般国道6号	交差点	土浦市	学園東大通り入口交差点	第1期	335.5	10			6		. 5		4	0	_		2	•		
17 18	常陸	一般国道6号	単路	土浦市 土浦市	6号パイパス中貫入口交差点南(区間) 中貫工業団地入口交差点付近(区間)	第3期 第4期	105.4 161.8	10 11	0		0) 4			0	0		2	•		
19	常陸	一般国道6号	交差点	土浦市	6号パイパス中貫入口交差点北(区間)	第3期	250.6	9			2	,	, ,	•		0	, i		2	•		
20	常陸	一般国道6号	交差点	土浦市	(仮) 中貫交差点		250.6	9	C		1) 1	. 0	8	0		_	0	•		
21	常陸	一般国道6号 一般国道6号	単路	かすみがうら市 かすみがうら市	上稲吉南交差点付近(区間) 上稲吉交差点付近(区間)②	第5期	138.6 161.2	10 11	0		6) 1	. 0	9	0	0		0	•		
23	常陸	一般国道6号	単路	かすみがうら市	下稲吉(区間)①	第4期	124.7	9			4		_	_		0			0	•		
24	常陸	一般国道6号	単路	かすみがうら市	下稲吉 (区間) ②		98.5	7	0	2	0	0) 1	. 0		1	0	1	0		•	
25	常陸	一般国道6号	交差点	かすみがうら市 石岡市	市川交差点	第1期	106.1	5	0		1 6	. 0	_	0	3 5	2	0		1	•		
26 27	常陸	一般国道6号	交差点 単路	石岡市	山王台交差点 石岡(区間)	第1期 第3次、第6期	233.5 55.7	11 17	0		8			1	12	0	0	_	2	•		•
28	常陸	一般国道6号	交差点	小美玉市	竹原下鄉交差点		107.8	4	1	. 0			1	. 0			0		1			
29	常陸	一般国道6号	交差点	小美玉市	堅倉交差点	第1期	215.7	8	_		5		_	_			_		0	•		•
30	常陸	一般国道6号	交差点 交差点	水戸市 水戸市	四中入口交差点 酒門町交差点	第1期 第1期	233.5 408.5	12 21	0		3		10		4	0	0		1	•		
32	常陸	一般国道6号	交差点	水戸市	酒門六差路交差点	第1期	130.8	8			2				. 5	1	0		0	•		
33	常陸	一般国道6号	交差点	水戸市	浜田十字路交差点	第1期	228.8	14			8		_	_		0			0	•		
34 35	常陸	一般国道6号	単路 交差点	水戸市 ひたちなか市	浜田十字路交差点付近 (区間) 筑波台南		112.6 179.8	9	0		2	0	2	0	7	0	0		0	•		
36	常陸	一般国道6号	交差点	ひたちなか市	市毛十字路交差点	第1期	163.5	10			5	6 0	2	1	5	0			0	•		
37	常陸	一般国道6号	交差点	ひたちなか市	少年刑務所北側交差点	第1期	237.3	9	_	_	4	,	_		5		·	_	0	•		•
38	常陸	一般国道6号	交差点 交差点	ひたちなか市 ひたちなか市	下田彦南交差点 工業団地入口交差点	第2期 第1期	290.0 237.3	11 9	1 0		2	0	_		4		0		1	•		•
40	常陸	一般国道6号	交差点	ひたちなか市	佐和上宿交差点	第7期	105.5	4			2			. 0	2				0	_		
41	常陸	一般国道6号	交差点	ひたちなか市	孫目十字路交差点	第1期	395.5	15	_		5		,		6	0	Ů		4	•		
42	常陸	一般国道6号	単路	那珂市 日立市	向山(区間) 金沢町1丁目(区間)②	第4期	107.6 70.5	17	1		2				7	0	0		2	•		
44	常陸	一般国道6号	単路	日立市	田尻浜入口交差点付近(区間)	N. 1961	77.6	4	0		3	0	1	1	. 3	0	0		1		•	
45	常陸	一般国道6号	交差点	土浦市	学園大橋南交差点		250.6	9	0		2		_	_	3	0	0		2			
46	常陸	一般国道6号	交差点 交差点	土浦市 日立市	都和陸橋交差点 石名坂交差点	<u> </u>	222.8 213.7	8	·		5	,	_		_	·	_	_	1	•		
48	常陸	一般国道6号	交差点	日立市	旭町交差点	第5期	339.4	4	_	_	2		_	_	_	_	_		0	_		
49	常陸	一般国道50号	交差点	結城市	城南小北交差点	第1期	222.8	8	0		3	_		_	4	0	0		3	•		
50 51	常陸	一般国道50号	単路	筑西市 筑西市	五戸(区間)④ 筑西市玉戸(区間)※3	第4期 第1期	138.7	8			3		, ,			•	, i		1	•		
52	常陸	一般国道50号	平 交差点	水戸市	水戸I.C西交差点	第3期	344.3	5	0		1	. 0	_			0	0		0			•
53	常陸	一般国道50号	交差点	水戸市	上中妻小入口交差点	第6期	87.5	5	0	0	3	0	0			0	1		0			
54	常陸	一般国道50号	交差点	水戸市	偕楽園北口交差点 ナエ町卒業点	第1期 第1期	294.7 515.8	8	0		1	. 0	0 0	_	3	1	0		0	•		
55 56	常陸	一般国道50号	交差点	水戸市	大工町交差点 木工団地北交差点	第1期 第1期	161.1	8	0		3	,		_	4	0	0		2	•		
57	常陸	一般国道50号	交差点	水戸市	水戸工業高東交差点	第1期	201.4	10	0	2	0	0	1	0	7	0	0	1	1	•		
58	常陸	一般国道50号	交差点	水戸市	吉田小南交差点	第2期	201.4	10	0		3				7	0	0		1	•		
59 60	常陸	一般国道50号 一般国道50号	単路 交差点	水戸市 水戸市	サントル千波交差点付近(区間) サントル千波交差点	第1期	22.6 181.3	4			2		_		0		0	_	0		•	
61	常陸	一般国道50号	交差点	水戸市	米沢町交差点	M+1M3	161.1	8	_		5	_			_		_		2			
62	常陸	一般国道51号	交差点	鹿嶋市	大船津北交差点	第1期	306.4	5	0		2	2 1	. 2	. 0	1	0	0		0			
63 64	常陸	一般国道51号	交差点	鹿嶋市 鹿嶋市	鹿嶋消防署南交差点 紬向去交差占	第1期	333.4 333.4	5	0		1		1 4	0	2	0	0		0			
65	常陸	一般国道51号 一般国道51号	交差点 交差点	屁鳴市 鹿嶋市	神向寺交差点 スタジアム前交差点	-	133.4	2	2		1	, ,	4 -	_ ~	0	0	0		0			
66	常陸	一般国道51号	単路	鉾田市	大竹 (区間)		20.1	3	2	1	2		1	0	1	1	0		0			
67	常陸	一般国道51号	単路	鉾田市	柏熊(区間)	第7期	77.0	6	C	0	0		2	0	3	0	0		1		•	
68	常陸	一般国道51号	交差点	水戸市	塩崎交差点	第1期	307.1	8		2	2	. 0) 3	0	5	0	0	1	2	•		L

【位置図】

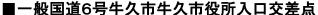


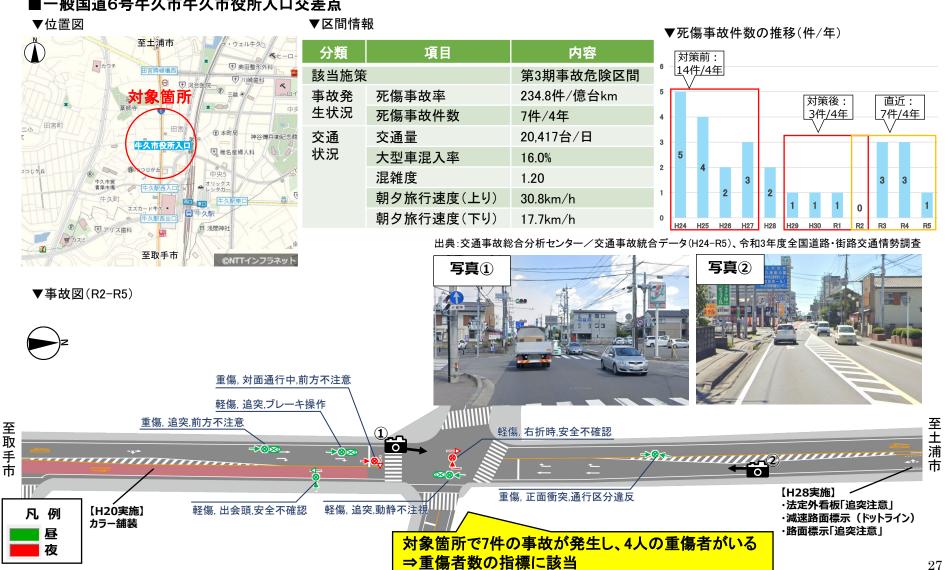
事故危険区間の選定結果: 県管理

							X.	本指標			地域指標		第4期追加	第4期追加指標		新たな指標		備考				
						過去の事故セ			歩行	*.	子供 (15	高齢者					輪車事		,	い細維な	対策完了	
No	事務所	路線名	交差点・ 単路	市区町村名	交差点名称	ロプランの該	死傷事故 死	傷事故	es		故歳以下)	(65歳) 上)事故	横断者歩	追突事故	正面衝突	工作物衡		ACRES STATE OF	傷事故	差点の事	(卒業)	
						当有無	率 件		単四	事故 件数	故件数(1	件数(1		件数	事故件数	突事故件 数	(1当2当 D組み合	里場有数 半	故件数	改集中箇	していた	
									件数	ŧ	当2当)	当2当)					o#)			У	箇所	
						基準信	300件/億 台キロ以上 101	件以上 2人以.	5件以	以上 6件以上	2件以上	5件以上	4件以上	8件以上	2件以上	1件以上 3	件以上	4人以上 台	D件/億 キロ且つ 非以上 ▽	間:4以上、 11:5以上		
Η,	茨城県	一般国道118号	交差点	常陸大宮市	常陸大宮市役所南交差点	第5期	203.6	4	- n	1	1	2	2 0		,) v	, ,	V 8#	以上 ~ ″	v	¥	/ 4 T m m 1
2	茨城県	一般国道124号		神栖市	知手交差点	3,000	248.8	8	0	2	3	0	2 0) 4	4 (1	1	1 2	•			【位置図】
3	茨城県	一般国道124号		神栖市	木崎交差点		146.1	8	0	1	2	0	2 1	1 2	2 (0	1		•			
4	茨城県	一般国道124号		神栖市	神之池交番前交差点	第5期	146.1	8	0	2	3	0	2 2	2 3	3 0	0	0		•			凡 例
6	茨城県 茨城県	一般国道124号 一般国道124号		神栖市 鹿嶋市	簡井北交差点 長栖南交差点	第3期	152.1 95.1	5	1	1	2	0	1 1	1 1	1 0	0	0	3	•			道路種別 供用済 事業中
	茨城県	一般国道124号	交差点	鹿嶋市	勤労文化会館西交差点	第4次	152.1	8	0	2	5	1	0 2	2 2	2 0	0	2	2 1	•			310-11
	茨城県	一般国道125号		阿見町	中郷東交差点	第7期	564.4	12	0	2	3	0	6 2		2 0	_	0		•			一般国道直轄 ————
	茨城県 茨城県	一般国道125号 一般国道245号		土浦市 ひたちなか市	小松坂下交差点 関戸北交差点	第5期 第5期	293.2 239.3	8	0	2	4	0	2 1	1 1	2 0	0 0	1		•			一般国道直轄外 ————————————————————————————————————
	茨城県	一般国道294号 一般国道294号		取手市	寺田 (区間)	第4期	41.4	12	1	2	6	0	4 2	. 4	1 1	. 0	1	. 2			•	自動車専用道路 ————
12	茨城県	一般国道294号	交差点	常総市	山田交差点		86.7	4	0	1	0	0	2 1	. (0	-	0	4				主要地方道 ————————————————————————————————————
	茨城県 茨城県	一般国道294号		筑西市 	一本松交差点	第6期	398.9 198.4	11	0	5	5	0	4 0		1 0		1	2	•			12000
	茨城県	一般国道354号	単路単路	古河市 土浦市	下辺見 (区間) 下高津3丁目 (区間)		70.1	8	0	1	1	1	2 1		2 0	_	0	1		•		The state of the s
16	茨城県	一般国道354号	単路		千東町 (区間)		154.4	6	0	3	1	1	0 1	. 2	2 0		1	0		•		The state of the s
	茨城県	一般国道354号		土浦市	木田余 (区間)	第4期、第6期		8	0	2	2	0	1 0	4	1 0	0	0		•			常被未属市
	茨城県 茨城県	一般国道408号		つくば市	松代交差点 西海道交差点	第5期	353.8 257.3	11	0	5	2	0	1 0	_	2 0	0	0		•			了 5 可以大道市 () 1 (
	茨城県	一般国道408号 一般国道408号		つくば市	国土地理院前交差点		154.1	8	0	3	2	0	4 0	2	2 1	0	1		•			
21	茨城県	一般国道408号	交差点		西大通り入口交差点	第5期	179.9	8	0	1	0	2	1 0) :	3 (0	0	1	•			
	茨城県	主要地方道3号		つくばみらい市	(仮) 陽光台4丁目交差点		287.1	6	0	1	4	3	2 3	3 (0 0	, ,	0	1				
	茨城県 茨城県	主要地方道7号 主要地方道10号		石岡市 日立市	行里川交差点付近(区間) 田尻町(区間)	第2期	47.2 129.1	14	0	2	5	1	5 5		8 0	1	0	2	•			The state of the s
	茨城県	主要地方道11号		取手市	取手市東(区間)	第7期	62.0	9	0	2	1	0	8 1		,	0	0	1				many many
	茨城県	主要地方道19号		取手市	(仮) 二三成橋交差点		159.2	4	2	0	0	0	1 0) 1	1 1	1	0	0				
	茨城県 茨城県	主要地方道19号		つくば市	研究学園交差点付近(区間)	00 = 40	100.5	8	0	1	3	0	1 0) 2	2 0	0	1		•			550
28		主要地方道19号 主要地方道19号		つくば市	大境交差点 大境交差点付近(区間)	第5期	463.1 172.1	10	0	4	1	0	4 0	1 2	2 0	0 0	1	-	•	•		479 37 49 10
30	茨城県	主要地方道23号	交差点	結城市	(仮) 芳賀崎交差点		491.1	7	0	0	1	0	2 0) () (0	1	. 8		-		45 52 10
31	茨城県	主要地方道24号		つくば市	花室交差点	第6期	200.7	9	1	3	1	0	3 0) 3	3 0	_	1		•			
	茨城県 茨城県	主要地方道24号 主要地方道25号		つくば市 阿見町	吾妻4丁目西交差点 阿見二区交差点	第5期 第5期	200.7 290.5	9	0	3	1	1	1 0	1	1 0	-	0		•			13
	茨城県	主要地方道25号		土浦市	(仮) 荒川沖駅入口交差点	A10141	181.0	8	0	0	3	0	2 2	4	1 0	0	1		•			The state of the s
35	茨城県	主要地方道25号	交差点	牛久市	ひたち野東交差点		331.5	9	0	1	3	1	4 1	. 4	1 0		0	0	•			30
36	茨城県 茨城県	主要地方道25号		阿見町 水戸市	阿見住吉交差点 見和 (区間)	第5期	171.2 120.4	8	0	3	3	2	4 0		1 0		0		•			五河市 八八九十四 下里 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10
	次城県 茨城県	主要地方道30号 主要地方道34号		水戸巾 能ケ崎市	見和(区間) (仮)藤ヶ丘7丁目交差点		158.0	4	0	2	1	2	3 0		0 0		0	1	•			A FIRE COLLEGE OF THE STATE OF
39	茨城県	主要地方道38号		ひたちなか市	ひたちなか市市毛(区間)	第6期	129.4	10	0	4	2	1	5 1	. 5	5 0	_	0	1	•			20 20 17 17 17 17 17 17 17 17 17 17 17 17 17
	茨城県	主要地方道38号		ひたちなか市	(仮) 市毛交差点		314.0	8	0	0	2	0	1 0) !	5 (0	2		•			51 27 3Z31 10
	茨城県 茨城県	主要地方道47号 主要地方道47号	交差点 単路	取手市	新大利根橋北交差点 新大利根橋北交差点付近(区間)	第5期	338.3 175.0	10 12	0	4	6	0	6 2 4 0	2 3	3 C	0 0	2		•			ne 19 19 Men
43		主要地方道48号		牛久市	結束町 (区間)	1	54.7	10	0	4	2	0	2 0		9 0	0	1	1 0	•			18.56.50 036
44	茨城県	主要地方道49号	単路	稲敷市	江戸崎 (区間)		129.1	6	0	1	0	0	3 0) (0	0	0	2		•		12 Rain
	茨城県	主要地方道50号		水戸市	千波町 (区間)	00°F #0	110.5	8	0	0	1	0	0 0) !	5 1	. 0	0		•			22 22 58
	茨城県 茨城県	主要地方道52号 主要地方道52号		石岡市 水戸市	石岡 (区間) 内原町 (区間)	第5期 第5期	167.5 50.3	5	0	0	2	0	4 0) (5 0	-	1	. 0	•	•		26 755 13
	茨城県	主要地方道55号		つくば市	台坪入口交差点	第1期	270.9	10	0	3	7	0	3 0) 3	3 0		0	1	•		•	410
	茨城県	主要地方道63号	単路	ひたちなか市	勝倉(区間)		46.3	10	0	5	4	1	3 0) 7	7 1		1	. 0				22 28 55 43 44 42 11 5553 38 5 4 4 4 4 7 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6
	茨城県 茨城県	一般都道府県道123号 一般都道府県道123号		つくば市 常総市	小野崎交差点 三坂新田町(区間)		185.5 50.5	9	0	1	5	0	1 1	. 3	3 0	0	0	0	•	•		20
	次城県 茨城県	一般都追府県道123号		水戸市	二 取 新 田 町 (区 間) 元 吉 田 町 (区 間)	第4次	177.5	10	0	0	1	2	6 2	! 3	3 0	0	0	0 0	•	•	•	// /
53	茨城県	一般都道府県道208号		取手市	藤代庁舎東交差点	第7期	230.4	7	0	3	2	1	6 4	Ì	0	0	0	4				
	茨城県	一般都道府県道208号	P S FORE PINT	取手市	谷中本田交差点	第2期	263.3	8	0	1	4	0	4 1	. 2	2 0	-	1		•		•	
	茨城県 茨城県	一般都道府県道208号 一般都道府県道237号	-1-50	能ケ崎市 つくば市	小通幸谷交差点付近(区間) 吾妻1丁目南交差点	第4次	57.6 182.5	4	0	2	4	0	0 0) () (0	0	0 3	•			
	茨城県	一般都道府県道267号		五霞町	古妻1 J 日 附父左 l l 元栗橋 (区間)	おサベ	95.6	4	0	1	0	0	2 0) 0	_	0	4	•			
58	茨城県	一般都道府県道272号	交差点	牛久市	牛久消防署前	第5期	296.8	9	0	1	5	1	3 2	. 4	1 0	0	0	0	•			
59	茨城県	一般都道府県道342号	交差点	水戸市	大工町2丁目交差点	第5期	380.4	8	0	0	2	1	1 0	3	3 0	0	1	. 0	•			
											:	指標	該当筐	脈]:新た	な指	[標により)選定	された	箇所	

追加指標該当箇所の事故発生状況: ③重傷者数

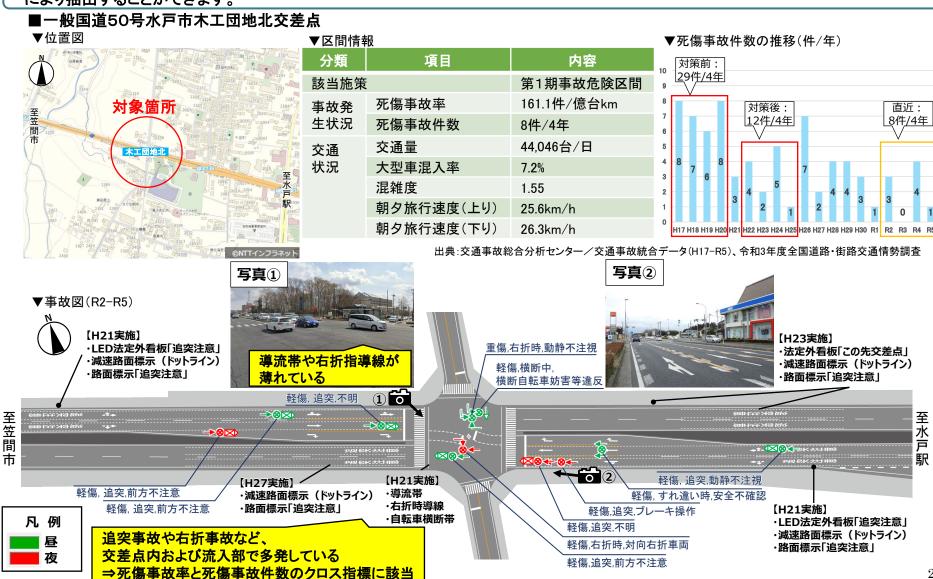
- ・当該交差点はH28に対策を実施しましたが、近年、追突事故や出会い頭事故が発生しており、重傷者数が4人います。
- これまでの指標では重傷者数が多くても選定されませんでしたが、新たな選定ルールと指標により抽出することができます。





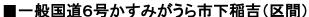
追加指標該当箇所の事故発生状況: 49死傷事故率と死傷事故件数

- ・当該交差点および周辺で対策を実施していますが、近年、追突事故や右折事故などの死傷事故が8件発生しています。
- ・これまでの指標では該当しませんでしたが、死傷事故率および死傷事故件数が一定値以上高い危険箇所を、新たな選定ルールと指標 により抽出することができます。



追加指標該当箇所の事故発生状況:⑤小規模交差点の事故集中箇所

・信号未設置の細道路との交差点で事故が多発している箇所は、第8期から追加する指標の「小規模交差点の事故集中箇所」に該当するため、これまでの指標では選定されなかった危険箇所を抽出することができます。

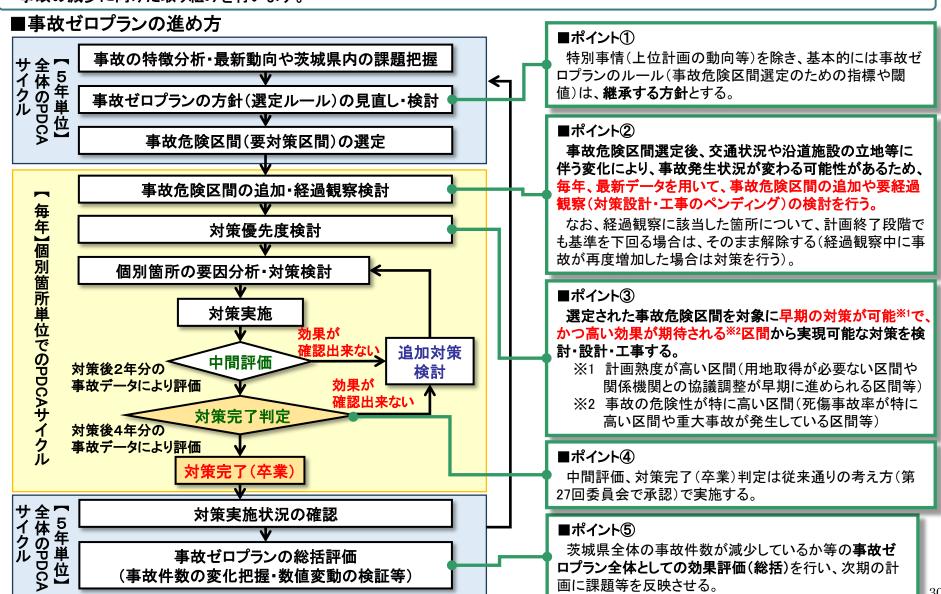




3. 幹線道路の交通安全対策検討:今後の事故ゼロプランの進め方

今後の事故ゼロプランの進め方

・今後の事故ゼロプランの進め方は、従来通り、毎年の個別箇所単位の事故対策のPDCAサイクルを回していくとともに、茨城県全体の 事故の減少に向けた取り組みを行います。



30

4. 生活道路の交通安全対策検討

- ・ ゾーン30プラスの概要
- ・ ゾーン30プラスの整備状況

〈ゾーン30プラスの入口(岐阜県各務原市の例)〉

・ゾーン30プラスでは道路管理者、警察、地域関係者が主体となって策定した計画を本委員会に報告するルールとなっています。



出典:生活道路の交通安全ポータル(国土交通省HP)

スムーズ横断歩道

Check

⑤対策の効果検証

Action

⑥整備計画の改善・充実

主な対策内容

スムーズ横断歩道、

ハンプ、狭さく

狭さく

ハンプ

ハンプ

シケイン

ハンプ

⑤対策の効果検証

ひたちなか市

水戸市千波地区 ④対策の実施

外野地区

令和6年度

令和6年度

4. 生活道路の交通安全対策検討:ゾーン30プラスの整備状況

ゾーン30プラスの整備状況:水戸市デ波地区

- ・水戸市干波地区で、地域住民、警察、学校関係者、道路管理者、交通安全協会等で合意形成を図りながら、交通規制、物理的デバイス 設置等の「ゾーン30プラス」の整備計画案を作成し、令和7年2月の会議で関係者から承諾を得ています。
- ・その後、令和7年4月にスムーズ横断歩道、7月にゾーン30プラスの路面標示・看板等が設置され、対策完了となっています。

■概要



- -計画作成年月-R6.11
- -推進体制-

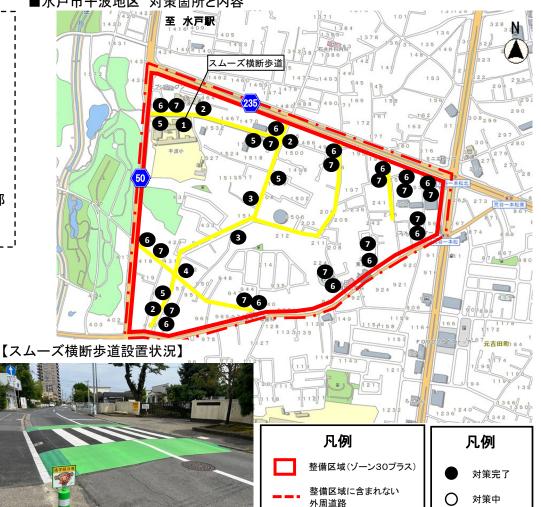
水戸市交通安全推進協議会

- -構成メンバー-
- 水戸警察署
- · 水戸市生活安全課、道路管理課
- 水戸市教育委員会
- 水戸地区交通安全協会水戸支部

■対策時期

No	対策内容	対策完了時期
1	スムーズ横断歩道	令和7年4月
2	貼付式立体減速標示材 (マウンテン)	令和7年4月
3	貼付式立体減速標示材 (サンダー)	令和7年4月
4	貼付式立体減速標示材 (クロスマーク)	令和7年4月
5	路面標示(学童注意)	令和7年7月
6	ゾーン30プラス路面表示	令和7年7月
7	ゾーン30プラス看板	令和7年7月
8	交通違反取締	_
9	パトロール	_





通学路

令和7年4月4日設置

対策予定

5. 今後のスケジュール

今後の安全性向上委員会のスケジュール

〇本日の委員会

- 1. これまでの経緯
- 2. 第35回委員会における主な指摘事項と対応
- 3. 幹線道路の交通安全対策検討
 - ・ 事故ゼロプランの取り組み
 - ・ 対策効果未発現箇所の追加対策検討
 - ・ 路面標示の検討について
 - ・ 今後の事故ゼロプランの進め方について
- 4. 生活道路の交通安全対策検討
 - ・ ゾーン30プラスの概要
 - ・ ゾーン30プラスの整備状況
- 5. 今後のスケジュール
- 〇合同現地診断(令和7年秋頃開催予定)
- 〇次回 安全性向上委員会(令和8年2月頃開催予定)
 - ・これまでの経緯
 - ・ 幹線道路の交通安全対策検討
 - ・ 新たな事故危険区間【第8期】の選定結果
 - ・ 新たな事故危険区間【第8期】の対策立案
 - · 合同現地診断結果
 - ・ 生活道路の交通安全対策検討
 - ・ ゾーン30プラスの概要
 - ・ ゾーン30プラスの効果検証
 - 今後のスケジュール